



事例紹介

滋賀県東近江市立 市原小学校

学校開放で、eライブラリ体験会

～学校活動を見える化し、地域を巻き込んだ学校作り～

地域と学校の一体化を目指す市原小学校では、土曜日に学校を開放し、学力向上策の説明と併せ、eライブラリの体験会を実施しました。保護者の理解を得ながら持続可能な教育環境を作り上げていきたいという校長先生の思いや、様々な取り組みの様子をご紹介します。



運用 土曜日に親子体験講座

親子で一緒にドリルに挑戦！

学力向上策の説明会に参加した保護者は、校長先生の話の後にパソコン教室に移動し、親子でeライブラリのドリルを体験しました。

保護者は子どもの様子を見ながら、問題文を一緒に読んで解き方を教えたり、子どもと一緒に答え合わせをして進めていました。『学校での活動を保護者に知ってもらうことで学校活動の理解を得られるようになる』と校長先生。

子どもたちが**学校のパソコン教室で普段楽しく勉強する様子を、保護者が知る貴重な時間**になったようです。



子どもを「褒める」場作りに

親子の体験講座では、問題を解く子どもたちの隣で「よくできたね」「頑張ったね」「すごい」と**子どもを褒める保護者の声**が多く聞こえました。

『褒めることは子どもたちの学びの意欲を増幅させ、その意欲の増幅が将来の学びの動機づけになる』との校長先生のお話通り、子どもたちは褒められると嬉しそうな笑顔を見せて、時間の許す限り問題に取り組んでいました。

親子で一緒に行くことで、**親が子どもを十分に褒めて自信をつけさせる機会**にもなっています。



市原小学校支援地域本部 地域コーディネーター 大塚 温子さんの感想

eライブラリ体験会では、参加した多くの保護者の方から「**子どもの学校での活動や勉強内容がわかって良かった**」という感想を頂き、大変好評でした。

保護者の学校活動への理解や納得が深まることで、より学校に向き合う意識が高まります。さらに、家庭で学校の話題が増えるなど、**子どもとのコミュニケーションにも繋がり、よいスパイラルが生まれる**のではないかと思います。

今回そうした意味でも、保護者と学校を結びつけるとても有意義な機会になりました。



運用 「地域と一緒に」子どもの学習環境を整える

市原小学校では保護者や地域の方に向けての学びの機会として、土曜講座や「おとなの学習時間」を設け、子どもの教育相談など様々な取り組みを行っています。板倉正直 校長先生にお話を伺いました。

大人にも学びの機会を

「おとなの学習時間」を作ったのは、子どものモデルでもある親に学校のことを理解してもらい、**地域と一体化して学校を作っていきたい**と考えたからです。子どもたちが安心して勉強ができる**持続可能な学習環境**を作るには、地域と家庭の連携が必要だと考えます。

保護者と学校が同じ物差しで子どもに向き合うことで、教育のブレをなくし、子どもたちの自己決定のスキルアップに繋げていければと思います。



板倉 正直 校長先生

学校と家庭の結びつきが「見える化」するeライブラリ

eライブラリの家庭学習サービスは、学校と同じドリルができるので、**学校と家庭の結びつきが「見える化」される**、とても良いツールだと思います。

授業と家庭学習はリンクしており、積み重ねで定着していくものなので、今後も保護者を巻き込み、連携・融合していきながら一体となって活用を進めていきたいと思っています。

運用 休み時間にミニ補充学習

「eの日」は、休み時間にドリル学習

市原小学校では、月ごとに「eの日」を設け、その日は中休みと昼休みの時間にeライブラリのりれきドリルを使った補充学習を行っています。

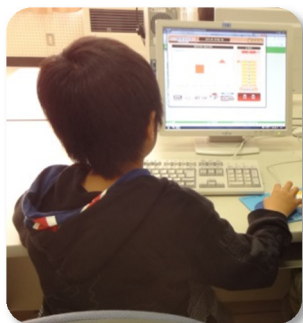
先生が決めた単元の中から学習したい単元を選んだり、子どもたちが好きな教科を自由に学習するなど、運用は担任の先生によって様々です。遊び感覚ではなく、「**勉強をしにパソコン教室に行く!**」という意識をもって取り組むよう、担任を通して指導をしています。



☆「eの日」の学年割り当て表☆

日付	中休み	昼休み
10月7日(火)	4・5・6年	1・2・3年
9日(木)	2年	4年
16日(木)	1年	5年
21日(火)	3年	5年
23日(木)	4年	6年
28日(火)	6年	2年
31日(金)	1年	3年

①学年ごとの日付は、各学期のコンピュータ室でのパソコン学習を指してまいります。詳しくについては、校務の各担当までお問い合わせください。
※本表は、eライブラリに準じた学年割当てとなります。変更の可能性があります。



成果を実感することが意欲に

休み時間を使った学習活動に子どもたちは不満をもつどころか、意欲的に学習に取り組んでいます。

短い時間の中でも学習履歴を確実に積み重ね、100点の結果を残すことで、**子どもたち自身が成果や達成感を感じられる**大切な時間になっています。

情報担当 岡田 直也 先生のお話

eライブラリは全学年で取り組んでいますが、子どもたちはすごく良い笑顔で楽しそうに取り組んでいます。低学年の子は特に〇がつくたびに喜び、**自信をつけている**ようです。×のときもリトライをして正解したときに褒めてあげることで、子どもの成長に繋がります。

今後は**雨の日にパソコン室の自由開放**を行って学習の機会を増やしたり、**子どもたちの学習履歴を活かし、クラスの弱点や苦手な単元などを見つけ、指導に効果的に活かしていきたい**と考えています。

来年度はパソコン教室に行列ができるくらい、子どもたちに浸透させたいです!

